

交換後薬液が出ているかの確認について

部品交換後薬液出の確認について

機械本体の電源を入れ機械を稼働させポンプを循環させます

薬液が出ない場合は……

①主電源の「ON」「OFF」確認



②非常停止スイッチの確認

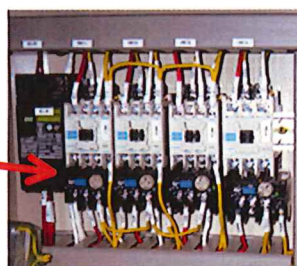
押されていれば

時計回りに回し解除する

③リミットスイッチの確認

配電盤内の青色ボタンを
ゆっくり押し確認して下さい

(マグネットポンプが両方動いて
いない場合はこの症状が多い)



④シャワーパイプから液が出ているか確認

パイプが外れていないか確認する

念のためシャワーパイプ内の洗浄を行う



⑤液受けタンクの液量を確認

薬液量が10-12Lの範囲にあるか確認して下さい

薬液が少ない場合は、エアーを吸込みポンプが
空回りし液が出なくなりますので新液に
交換して10-12Lに調整して下さい



⑥液吸上げホースのつまり確認

マグネットポンプが作動し液が出ない場合、

液吸上げホースの詰まりが無いか確認して下さい

詰まりがあれば取り除いて洗浄してください

⑦ユニオンのゴムパッキンが無いと

液を吸い上げない場合があります

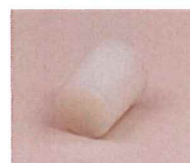
無い場合は購入をお願いします



⑧自吸タンク用フタとゴム栓の確認

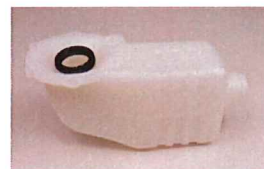
フタが劣化か破損していれば、部品を購入し

交換して下さい、シリコンゴム栓 NO. 9



⑨自吸タンクの確認（付属の場合）

自吸タンク内に液が入っているか確認して下さい
液量が不足の場合は追加し、作動させ液出を確認します
動作後、自吸タンク液量に変化していない場合は、
ポンプか本体セットに不具合があると思われます。
液循環装置の自吸タンクから液が漏れていませんか。
漏れている場合は、ネジの増締めを行うか、
自吸タンクの破損が見られますので、
部品を交換して下さい



- ⑩白色部分の本体セットのゴミ詰まりが無いか確認
ください。マグネット部を取外して状況を確認し、
羽の損傷がないか見て下さい。破損時は交換
して下さい。過去にマグネット部分が取れない
事例もありました。また磁石機能の低下による
脱調もあります。羽を押えるフロントケーシングに
劣化（削れて損傷など）が見られる場合も
交換となります。交換時は写真のセットを
購入交換して下さい。



- ⑪上記の項目に問題が無ければ・・・
マグネットポンプの不具合です。
結線を確認し交換して下さい。



本体セットの確認は ⑩
自吸タンク S C - 4 V の確認は ⑨、⑩
ユニオン 1 6 A の確認は ⑦